

## 葛飾区工事成績評定表(報告書)

年月日

契約管財課長 殿

工事主管課長(公印省略)

工事件名				受注者		
工事場所				現場代理人		
契約番号				契約金額		
工期	年月日から 年月日まで			完了検査日	年月日	
工種	建築			種別		
考查項目	細目	細目内容	細目評価点	細目評定点	項目評定点	
項目係数(A)	細目係数(B)	(考查の着眼点)	(C)	(D=B×C)	(E=Σ(A×D))	
施工体制 15	現場代理人(主任・監理技術者を含む) 現場作業員 (0.7)	・全体の把握 ・指揮統率力 ・施行管理能力など ・作業員の熟練度 ・作業員の作業態度など				
	涉外調整 (0.3)	・官公署との調整 ・周辺住民との対応 ・監督員への報告や連絡				
現場管理 15	関係法令の遵守 (0.3)	・建設業法、道路交通法等の遵守				
	安全衛生管理 (0.4)	・場内安全衛生管理 ・仮設・機械の安全点検 ・場内作業事故の有無 ・危険物の安全確保				
	現場の整理 環境・交通対策 (0.3)	・現場内の整理・整頓 ・資機材の保管状況 ・周辺環境への配慮 ・安全施設や交通整理要員配置				
工程管理 15	工程計画の適正 工程の調整 工程の遵守 (1.0)	・工事全体を考慮した ・合理的な工程計画 ・状況変化に対する対応 ・関連事業者との協力調整 ・工程の遵守				
施工管理 20	施工計画 (0.4)	・施工計画の内容 ・施工手順の適否				
	提出書類の整備 (0.3)	・関係書類の提出状況と内容 ・写真及び施工データ ・記録の分析整理				
	出来栄え (0.3)	・仕上り外観、出来形寸法 ・手直しの多少 ・材料の品質及び均一性 ・試験の成績				
所見	監督員				計	
					加点	
	主任監督員 (係長)				減点	
					監督員評定点計	

- ☆ 監督員評定は、70点満点とする。
- ☆ 項目評価点は、小数点第1位を四捨五入する。
- ☆ 加点は、特に技術力、創意工夫、熱意、社会的貢献などで評価できる場合、1項目ごとに、最大5点まで付与できる。
- ☆ 減点は、指導内容が同一で、文書による指導回数が1回(指示書)のときは3点を、2回(改善指示書)のときは6点を、それでも改善が見られない3回(改善命令書)のときは、10点の減点を行う。  
ただし、内容が異なる文書指導を複数回した場合は、それぞれ1回ごとに減点する。
- ☆ 口頭注意した場合で、不適切な施工、報告等があった場合は、1項目ごとに、1点から10点の範囲で減点を行う。
- ☆ 所見欄は、特記事項がある場合及び加点・減点があつた場合に、具体的な評価・指導の内容を記入する。  
ただし、加点・減点する際は、加点・減点することごとに、具体的に、どのように優れていたか、不適切であったかの理由を所見欄に記入する。

## 葛飾区工事成績項目別評定表

第2号様式

契約番号

(工事件名)

(工種)

(工事場所)

1 / 3

評定項目	細目	評価		評価対象項目				
施工体制	現場代理人 (主任技術者等) ※全体の把握 ※指揮統率力 ※施工管理能力等を評価する  現場作業員 ※作業員の熟練 ※作業員の作業態度等を評価する	概ね適正	不備有	番号	現場確認事項			
				1	現場代理人等の身分は速やかに確認できた。			
				2	現場代理人は、現場の管理運営に必要な知識と経験を有するものであった。			
				3	主任・監理技術者は、建設業法に定める職務を遂行するために必要な知識と経験を有するものであつた。			
				4	契約書、設計図書、関係基準等をよく理解し、現場に反映し工事を行った。			
				5	下請負人の施工体制、施工状況を把握していた。			
				6	監督員に対して、施工状況に関する連絡、報告等の内容及び時期が適切に行われた。			
				7	完了検査等において、検査員に対し施工内容に関する説明等を適切に対応していた。			
				8	監理技術者等の資格を証明する資料が提出された。			
				9	監理技術者等は、腕章及び監理技術者資格者証等を携帯していた。			
				10	周辺住民対応はすべて代理人が行い、苦情・要望に適切に対処した。			
				11	当該下請負人の施工能力は適切であった。			
				12	下請負届で記載された者が従事していた。			
				13	作業中のヘルメットの着用など安全性を重視する態度があつた。			
				14	作業は手順が決められ、それぞれの作業態度が良好であった。			
				15	各作業員が、役割分担に基づいた作業を丁寧に行っていた。			
				16				
				17				
		小計	小計	計	*加点は1項目0.1とし最大3項目までとする。			
基本評価点算出方法=(概ね適正(0.70)×項目数+不備有(0.40)×項目数)/対象項目数						基本評価点	(a)	
加点理由								加点 (b)
施工体制	渉外調整 ※官公署や他企業との調整 ※周辺住民との対応 ※監督員への報告や連絡状況	渉外調整			1	工事の着手、施工、完了に当たり、関係官公署その他の関係機関との折衝及び調整を適切に行つた。		
					2	関連工事との調整を行い、工事全体の円滑な進捗に努めた。		
					3	地域住民、その他の関係者との間に紛争が生じないよう努め、必要に応じ広報等を行つた。		
					4	苦情に対して、誠意をもってその解決にあつた。		
					5	監督員に苦情処理の経過等が遅滞なく報告された。		
					6	工事着手、施工、完了に当たり、関係官公署他の関係機関へ、必要な届出手続きが遅滞なく行われた。		
					7	住民説明会等で取り決めた作業時間、作業条件等の制約を遵守した。		
					8	苦情処理、折衝議事等の記録が残されていた。		
					9	作業計画と実施について、週報や月報として定期的に報告された。		
					10	事故や苦情等、現場の情報連絡は迅速に行われていた。		
					11			
					12			
		小計	小計	計	*加点は1項目0.1とし最大3項目までとする。			基本評価点
基本評価点算出方法=(概ね適正(0.70)×項目数+不備有(0.40)×項目数)/対象項目数						加点 (b)		
加点理由								細目評価点
現場管理	関係法令の遵守 ※建設業法や道路交通法等を遵守しているか	関係法令の遵守			1	産業廃棄物の処理について、マニフェストの枚数、産業廃棄物の数量等が集計表で容易に確認できた。		
					2	施工体制台帳が、現場に備え付けられていた。		
					3	施工体系図が、工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲げられた。		
					4	工事現場の施工体制が、施工体制台帳及び施工体系図と合致していた。		
					5	建退共掛金領収書が、工事着手後1ヶ月以内に監督員へ提出された。		
					6	建退共の標識が、公衆の見やすい場所に掲げられた。		
					7	建設業の許可標識が、公衆の見やすい場所に掲げられた。		
					8	労災保険関係の成立を表す標識が、公衆の見やすい場所に掲げられた。		
					9	工事実績情報サービス(CORINS)への登録手続きが、定められた期日(※注、変更時は、10日以内)までに行われた。		
					10	作業帯や施工時間等、工事協議書等の内容を守つて工事をした。		
					11	振動や騒音防止のため、機械や施工について十分配慮していた。		
					12	不正軽油使用防止に努めていた。		
		小計	小計	計	*加点は1項目0.1とし最大3項目までとする。			基本評価点
基本評価点算出方法=(概ね適正(0.70)×項目数+不備有(0.40)×項目数)/対象項目数						加点 (b)		
加点理由								細目評価点

現場管理	安全衛生管理 ※現場内の安全衛生管理 ※仮設や機械類 安全点検 ※事故の有無等を評価する			1 工事の規模と内容に応じた安全巡視、安全教育、安全点検等の安全活動を実施した。	基本評価点 (a) *加点は1項目0.1とし最大3項目までとする。	
				2 工事箇所及びその周辺の地上及び地下の既設構造物、既設配管等に対して、支障をきたさないよう必要な措置を講じた。		
				3 過積載防止に努めた。		
				4 重機操作に際して、誘導員配置や重機と人の行動範囲の分離措置がなされた。		
				5 安全通路の確保、落下物の防止等の安全措置が的確になされた。		
				6 工事従事者のための休憩場所等の施設の確保に努めた。		
				7 現場における緊急措置、防火体制等が整備されていた。		
				8 危険物等の保管に関し関係法令を遵守した。		
				9 指定仮設を除く足場、棧橋等の仮設物は、関係法令等に基づき設置された。		
				10 火気の使用や溶接作業を行う際、必要な防火措置を講じた。		
				11 通行人や物件などに対する事故及び労災事故はなかった。		
				12		
				13		
				14		
		小計	小計	計		
基本評価点算出方法=(概ね適正(0.70)×項目数+不備有(0.40)×項目数)/対象項目数					(a+b)	
加点理由				加点 (b)	細目評価点 (a+b)	
環境・交通対策	現場の整理 ※場内の整理整顿、資機材の保管状況 環境・交通対策 ※周辺環境への配慮 ※安全施設の配慮や交通整理 要員の配置			1 現場内が常に整理・整頓されていた。	基本評価点 (a) *加点は1項目0.1とし最大3項目までとする。	
				2 作業終了後、後片付けや清掃を実施していた。		
				3 資機材を作業帯の外に不必要に放置していなかった。		
				4 作業後や休工日に現場やその周辺に資機材が置かれていなかった。		
				5 資機材の保管場所を確保していた。		
				6 指定された建設機械について、低騒音・低振動型及び排出ガス対策型建設機械を使用した。		
				7 積み降ろしで待機する車両のエンジン停止を徹底していた。		
				8 作業帯は現場責任者が常に確認し、適切に設置されていた。		
				9 歩行者誘導や建設機械の安全確認のため、専用の誘導員を配置していた。		
				10 工事看板、誘導用看板などは内容も配置も適切であった。		
				11 防塵対策等周辺環境に配慮していた。		
				12		
		小計	小計	計		
基本評価点算出方法=(概ね適正(0.70)×項目数+不備有(0.40)×項目数)/対象項目数					(a+b)	
加点理由				加点 (b)	細目評価点 (a+b)	
工程管理	工程計画の適正 ※工事全体を考慮した合理的な工程計画か 工程の調整 ※状況の変化に対する対応 工程の遵守 ※工程は適切に進行管理され尊守されたか			1 実施工業表は、工事全般にわたり綿密に立てられ、各工種と全体との整合が取れていた。	基本評価点 (a) *加点は1項目0.1とし最大3項目までとする。	
				2 十分な事前調査を実施した上で立てられた計画であった。		
				3 周辺の道路状況や地先車両の出入りなどを考慮して計画されていた。		
				4 工程は工種をネットワーク化する等して計画されていた。		
				5 日々の作業量は、無理無く実施可能な量で計画されていた。		
				6 状況変化への対応が迅速に行われ、工程に大きな影響を与えたなかった。		
				7 関連工事との工程調整を行い、現場作業の円滑な進捗に努めた。		
				8 作業時間の変更、休日等の施工を行う際は、事前に監督員と協議し承諾を得た。		
				9 近隣及び地先要望や苦情に対応するための工程調整も行われた。		
				10 日々の作業は、概ね作業時間を遵守していた。		
				11 工事の規模、状況に応じた人員及び機械配置が行われ、施工に支障をきたさなかった。		
				12 定められた作業日程で工期内に完成した。		
				13 実施工業表の補足として、月間又は週間工程表を作成し、工程管理に努めた。		
				14 工程計画を着実に守り工事を完了した。		
				15 全体の作業計画に沿って概ね予定通り進捗した。		
				16		
				17		
		小計	小計	計		
基本評価点算出方法=(概ね適正(0.70)×項目数+不備有(0.40)×項目数)/対象項目数					(a+b)	
加点理由				加点 (b)	細目評価点 (a+b)	

施工管理	施工計画 ※計画の内容 ※施工手順等を評価する			1 施工計画書は、設計図書、現場状況を的確に把握したものであった。					
				2 施工図は、仕上げ、他工種及び関連工事との納まり等について十分検討されたものであった。					
				3 施工計画書又は施工図の内容を変更する必要があった場合、監督員への報告及び必要な措置が講じられた。					
				4 施工区域の設定は、交通計画、環境等を考慮したものであった。					
				5 施工に適した機器、機械等が使用された。					
				6 既存施設部分及び工事目的物の構造物の養生は適切であった。					
				7 設計図書の内容に関して疑義が生じた際、監督員と協議の上、施工がなされた。					
				8 施工図は、当該工事の施工前に提出された。					
				9 工事記録写真撮影計画書が事前に監督員へ提出された。					
				10 道路使用計画は、現場の道路事情や施工手順を十分に検討していた。					
				11 現場作業は、工種ごとに決められた手順で進められていた。					
				12					
				13					
		小計	小計	計	*加点は1項目0.1とし最大3項目までとする。				
基本評価点算出方法=(概ね適正(0.70)×項目数+不備有(0.40)×項目数)/対象項目数					(a+b)	(a)	(a+b)		
施工管理	加点理由 提出書類の整備 提出書類の整備 ※書類の提出とその内容 ※写真及び施工データー ※記録の分析と整理等を評価する				加点	(b)	細目評価点		
				1 工事の請負に関する書類の内容は、必要な項目が的確に記載されていた。					
				2 工事の請負に関する書類は、定められた期日までに提出された。					
				3 品質管理記録が適切に作成されていた。					
				4 不可視部分の写真記録が適切であった。					
				5 工事記録写真の撮影方法及び編集方法は適切であった。					
				6 材料等の搬入の証明となる資料の整理が適切に行われた。					
				7 出来形管理図又は管理表が適切にまとめられており容易に確認できた。					
				8 道路使用計画や施工計画書は、速やかに提出された。					
				9 計画書の内容は、概ね適切で手直し指示はあまり無かった。					
				10 写真の説明や配置の仕方に工夫があり、解り易くまとめられていた。					
				11 設備の総合的な機能確認及び記録の整理が適切に行われた。					
				12					
				13					
		小計	小計	計	*加点は1項目0.1とし最大3項目までとする。				
基本評価点算出方法=(概ね適正(0.70)×項目数+不備有(0.40)×項目数)/対象項目数					(a+b)	(a)	(a+b)		
施工管理	出来栄え ※仕上がり状態 ※手直しの多少 ※材料の品質 ※試験の成績等を評価する			1 施工の品質及び形状が適切で良好な施工であった。					
				2 材料等の保管に関し、その方法等が適切に行われていた。					
				3 標準仕様書、各種基準類に基づく管理基準値や許容範囲を満足した。					
				4 材料等の材質、仕上げの程度、色合い、調合等について監督員の承諾を受けた。					
				5 材料等の品質証明に伴う試験方法は、設計図書に定められたもの又は監督員の承諾を受けたものであった。					
				6 各種材料等の試験成績書が監督員に提出された。					
				7 出来形測定において、不可視部分の出来形が写真で容易に確認できた。					
				8 きめ細やかな施工がなされ、取合いの納まりや端部まで仕上がりが良好であった。					
				9 出来形の形状、寸法が設計値を満足していた。					
				10 技術検査(課内検査)で重大な手直しがなかった。					
				11 操作制御関係が所定の機能を有し、必要な安全装置・保護装置の機能が確認できた。					
				12 設備の総合性能が設計図書のとおり確保されていた。					
				13 完了検査で手直しなかった。					
				14					
		小計	小計	計	*加点は1項目0.1とし最大3項目までとする。				
基本評価点算出方法=(概ね適正(0.70)×項目数+不備有(0.40)×項目数)/対象項目数					(a+b)	(a)	(a+b)		
施工管理	加点理由				加点	(b)	細目評価点		

## 葛飾区検査成績評定表(報告書)

年月日

契約管財課長 あて

検査担当

件 名					検 査 員		
履行場所					立 会 人		
受 注 者					工 種	建 築	
案件番号					契 約 金 額		
工 期	年	月	日 か ら	年	月	日 ま で	日間
完 了 月 日	年	月	日	検 査 月 日	年	月	日
評 定 項 目			評定項目係数 (A)		細目評価点 (B)		項目評定点 (C=A×B)
施 工 管 理			5				( a )
品 質 管 理			5				( b )
出 来 栄 え			20				( c )
(注)1. 細目評価点の算出は、別紙検査成績項目別評定表による。 2. 項目評定点は、小数点第1位を四捨五入する。 3. 減点は、手直し事項が3項目までは1点を、4項目以上の手直しがある場合は2点を減点する。 なお、大幅な手直しがあり、再検査を実施した時は5点減点する。					計		( a+b+c )
					減 点		
					検査員評定点計		点
所 見							

\*検査員評定は、30点満点で表示する。

\*所見欄は、減点などがあった時に記入する。

## 葛飾区検査成績項目別評定表

第4号様式の2

(案件番号) (件名)  
工種(建築) (履行場所)

評定項目	評定細目					
	概ね適正	不備有	評価	対象	項目	
施工管理	概ね適正	不備有	評価	対象	項目	
			1	現場の代理人、監理技術者等の現場の組織・体制が明らかであった。		
			2	現場代理人、監理技術者は工事内容を把握し理解していた。		
			3	仮設計画は設計図書に基づき、安全性にも十分配慮していた。		
			4	検査対象工種に必要な施工計画書を作成し、監督員の承認を受けていた。		
			5	加工を伴うものは、承認図を作成して監督員の承認を受けていた。		
			6	検査対象工種に必要な施工報告書が作成されていた。		
			7	設計内容に疑義・不整合がある場合は、監督員と協議して処理されていた。		
			8	仕様書に定められた検査機関等による試験結果資料が整理されていた。		
			9	官公庁等の手続書類及び検査合格証などの書類が整理されていた。		
			10	建設廃棄物の分別化・再資源化が適正に行われ、関係書類が整理されていた。		
			11	実施工程表を作成し、必要に応じて修正しながら工程管理をしていた。		
			12	工事記録写真が各工種の施工段階及び過程が、見やすく整理されていた。		
	小計	小計	計	*加点は1項目0.1とし最大3項目までとする。		
				(a) 基本評価点		
品質管理	基本評価点算出方法=(概ね適正(0.70)×項目数+不備有(0.40)×項目数)/対象項目数					
	加点理由				加点	(b) 細目評価点
品質管理	概ね適正	不備有	評価	対象	項目	
			1	杭材料の材料検査を実施し、規格又は性能を満たす資料が整理されていた。		
			2	施工報告書から杭芯のズレ・杭施工長さ等、杭の施工精度等が確認できた。		
			3	鉄筋の材料検査を実施し、規格又は性能を証明する資料が整理されていた。		
			4	鉄筋の圧接試験結果が良好で、それを証明する資料が整理されていた。		
			5	鉄筋の配筋状態が良好であることが、工事写真等で確認できた。		
			6	型枠内の清掃が行き届いており、梁・スラブ・壁内に鋸くず、ゴミ等がなかった。		
			7	コンクリートの調合、強度が規格値を満足しその資料が整理されていた。		
			8	コンクリートの打ち上がり状態が良く、コールドジョイント・ジャンカが少なかった。		
			9	鉄骨の材料検査を実施し、規格又は性能を証明する資料が整理されていた。		
			10	鉄骨の溶接検査結果が良好で、それを証明する資料が整理されていた。		
			11	塗装等の種類が設計図書の内容と合致し、これを示す資料が整理されていた。		
			12	材料検査が適切な時期に行われ、監督員の承認を受けていた。		
			13	使用材料は製品のカタログ、見本等を提出して監督員の承認を受けていた。		
			14	建具の性能等級が設計図書の内容と合致し、これを示す資料が整理されていた。		
			15	品質管理に関する工事写真は、目的により工種・時期・個所が明確に確認できた。		
	小計	小計	計	*加点は1項目0.1とし最大3項目までとする。		
				(a) 基本評価点		
品質管理	基本評価点算出方法=(概ね適正(0.70)×項目数+不備有(0.40)×項目数)/対象項目数					
	加点理由				加点	(b) 細目評価点

## 葛飾区検査成績項目別評定表

第4号様式の2

(案件番号)

(件 名)

工程

(履行場所)

## 葛飾区工事成績評定表(総括)

案件番号	工種（建築）		
件名			
履行場所			
受注者			
契約金額			
変更契約金額			
工期	年月日から	年月日まで	
完了年月日	年月日		
完了検査年月日	年月日		
監督員所属氏名			
検査員所属氏名			
監督員評定点	/ 70 点		
検査員評定点	/ 30 点		
総評定点	/ 100 点		
総合評価			

第6号様式

年 月 日

様

葛飾区契約担当者

## 葛飾区工事成績評定通知書

貴社が施工した工事について、葛飾区工事成績評定要綱に基づき成績評定した結果を下記のとおり通知します。

記

案件番号			
工事件名			
工 期	年 月 日	～	年 月 日
完了検査日	年 月 日		

### 項目別評定点

工事主管課評定		検査員評定	
評定項目	評定点	評定項目	評定点
施工体制	/15	施工管理	/5
現場管理	/15	品質管理	/5
工程管理	/15	出来栄え	/20
施工管理	/20	減点	/5
加点	/5		
減点	/10		
評定点	/70	評定点	/30
総評定点	/100		
総合評価			

年　月　日

長　あて

葛飾区契約担当者

## 葛飾区工事成績評定通知書

貴課が起工した工事について、葛飾区工事成績評定要綱に基づき成績評定した結果を下記のとおり通知します。

記

案件番号	
工事件名	
工　期	年　月　日～　年　月　日
完了検査日	年　月　日

### 項目別評定点

工事主管課評定		検査員評定	
評定項目	評定点	評定項目	評定点
施工体制	/15	施工管理	/5
現場管理	/15	品質管理	/5
工程管理	/15	出来栄え	/20
施工管理	/20	減点	/5
加点	/5		—
減点	/10		
評定点	/70	評定点	/30
総評定点		/100	
総合評価			